

「農福連携WEBセミナー」を受講しながら適宜お書きください。

### あなたの農福連携への第一歩は？

どのような形で農福連携の取組に関わるのか、関わってみたいのか  
取組みの中でご自身の果たす役割やお立場など

※既に農福連携に取り組んでいる人は、発展させていくために必要なことを書き込んでください。

### Note

農福がはじめてのあなたに。

参加費  
無料

# 農福連携

## WEBセミナー

～農福連携のススメ～

参加  
募集中

### 農福連携ってなに？

障害者等の就労の場の創出だけではなく、農業者の減少等の課題を抱える農業側にとっても、人手の確保や地域農業の維持・活性化等の効果があり、「農業」と「福祉」の双方の課題解決につながる取組として、様々な形で全国的な広がりを見せています。この機会に「農福連携」を知ってみませんか？

### セミナー内容

農福連携に興味のある方々に向け、【総論】【福祉団体】【農業者】【企業等】の各観点から、講師による基礎的な内容や具体的な事例までがわかるWEBセミナーを開催します。

1

【総論】

農業と福祉の連携に関する展望  
～農福連携研究の視点から～

農研機構西日本農業  
研究センター 研究員 中本 英里 氏



2

【福祉団体による取組】

農福一体のソーシャルファーム

埼玉福興株式会社  
(埼玉県熊谷市)代表取締役 新井 利昌 氏



3

【農業者による取組】

ネギ栽培で実践する  
組織的な農福連携

有限会社岡山農商  
(岡山県岡山市)代表取締役 板橋 良樹 氏



4

【企業による取組】

16年目の挑戦  
コクヨが取り組む農福バランス

ハートランド株式会社  
(大阪府泉南市)代表取締役 水谷 亨 氏



5

農林水産省からの情報提供

6

ワークシート&フィードバック

本セミナーで得た知識を整理し、考えを深めるためのワークと、中本氏によるフィードバックの時間をご用意しております。  
※セミナーの内容は予告なく変更する場合がございます。

開催日時

2023年 **7/25**(火) 13:00~16:00

応募期間

**6/26**(月)~**7/21**(金)

※応募者多数の際は先着順とさせていただきます。

場所

**WEB開催**

zoomURLは別途事務局よりご連絡いたします。  
※リアルタイム視聴が難しい場合も、お申込み頂きますと、後日録画URLをお送りさせていただきます。

受講対象

農福連携に興味のある方全般 農業者、社会福祉法人、企業経営者・担当者 等 どなたでもお気軽にご参加ください！

申込方法

申込はこちら ▶▶▶



<https://forms.gle/mSDReaZvu78Phy4WA>

お問い合わせ先

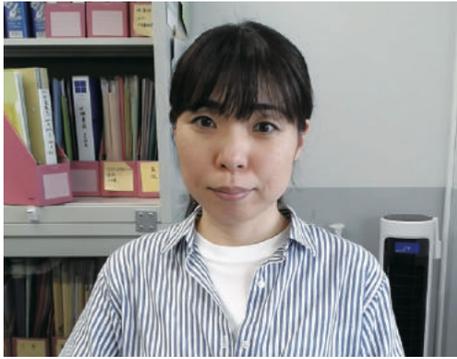
株式会社農都共生総合研究所

TEL

**03-3868-0889**

E-mail

[noufuku@notosoken.jp](mailto:noufuku@notosoken.jp)



農研機構西日本農業研究センター 研究員

## 中本 英里氏

専門は農業経済、農業経営。農福連携の効果に関する調査研究を始め、学術研究の実績も多数あり。数多くの講演やセミナーの講師を務め、農福連携の普及推進に尽力している。平成25年には、ヤンマー学生懸賞論文大賞受賞、平成30年には、地域農林経済学会個別報告優秀賞を受賞している。

### 参加者の皆様へのメッセージ

農業には多様な作業工程があり、工程を細分化し分業化することにより、障害のある方や高齢者等の活躍の場を創出することが可能となります。また、農作業環境や農作業・園芸活動には、ストレス軽減、心身機能の賦活など健康増進に繋がる特徴があり、障害者の健康で自立した職業生活の実現や、高齢者等のリハビリの機会、社会適応を目的とした支援プログラムにも寄与します。さらに、福祉の視点を取り入れた就労機会の提供や営農における作業体制の見直しは、農業分野において、労働生産性の向上をもたらす作業環境整備にも繋がることが期待されています。まずはその実効果や取組課題について、実践現場の方々のお話から、一緒に学んでいきましょう。



埼玉福興株式会社(埼玉県熊谷市) 代表取締役

## 新井 利昌氏

「ソーシャル・ファーム」として、障害者やニート、罪を犯した者など、社会的に排除されやすいの方々に対し、自立のかつ主体的に活動できる場や居場所を地域内で提供しながら、地域を支える担い手として社会循環を創りだしている。

### 商品紹介

#### 玉ねぎ

ソーシャルファームで作られたオーガニックの玉ねぎを使用したハンバーグを、企業とのコラボレーションで商品化し、さらに「農福連携農場」でとれた商品として販売し、関わる企業の社会的価値を上げるお手伝いも同時に進めている。



#### オリーブ

OliveJapan国際オリーブオイルコンテストで2014年に銀賞、2016年に金賞を受賞。また、地域活性化のため、グリーンケアとしてオリーブを活用し、大量生産大量消費のない本当の持続可能な社会への価値転換を進めている。



#### 藍

自社農園で自然栽培している藍は、食としてうどんに打ち込んでイベントで提供したり、洋服やストール等アップサイクルでの藍染めをしたり、自社商品を作ったりしている。藍を染める営みを通してのグリーンケアの場として、世代間共創とコミュニケーションの活性化を目指し、「やさしい」地域内循環を目指す。



#### 米

自社農園で自然栽培している米は、小学校、特例子会社、福祉施設、ソーシャルファーム、上場企業等の社会資源が一体となった「社会的農場」で、年間を通して栽培している。情操教育、企業価値を上げる、工賃アップ、障害者雇用等の、関わる団体がそれぞれの社内課題や社会課題を解決させながら、「やさしい」社会の在り方をみんなでいっしょに考え行動している。



有限会社岡山県農商(岡山県岡山市) 代表取締役

## 板橋 良樹氏

岡山県の農業生産法人。平成20年にNPO法人 岡山自立支援センターを設立。青ネギ、ミニトマトの通年出荷をメインにさまざまな農産物の生産・加工・販売を行なっている。障害者と高齢者を積極的に雇用しており、農福連携の発展に尽力している。

### 商品紹介

「我社で生産した農作物は我社の責任で販売していこう」という思いから、生産した農作物は、県農商の自社ブランドで販売している。

#### きびトマト

有機の土と肥料を使い、ハウス内でバッグ栽培という独特な方法で栽培を行なっている。甘みと酸味のバランスが抜群な高糖度ミニトマト。うまみ成分と香りがトマト本来のkokoroを引き出し、高級な食味を持つ。



#### 桃太郎ねぎ

ミネラルを多く含む砂地と、水質の良い地下水に恵まれた岡山県牧石地区の地域資源を活かした栽培を行なっている。爽やかな香りと程よい甘みが特徴。



#### 農園スイーツ モイモ

壺焼き芋をはじめ、焼き芋プリンやモンブランなど、さつまいも本来の味・香りを活かしたスイーツを販売している。善玉菌を増やすために厳選した有機肥料を使用し、大地の栄養をしっかり蓄えたサツマイモを、ベストなタイミングで収穫。管理されたキュアリング貯蔵庫でじっくり熟成させることで出来上がる、より完熟で甘いサツマイモから作られた、防腐剤・着色料不使用の手作りスイーツ。



ハートランド株式会社(大阪府泉南市) 代表取締役社長

## 水谷 亨氏

平成18年に設立したココヨ株式会社の特例子会社。特例子会社の農地所有適格法人としては日本初の取組事例である。令和4年度は、知的障害者5名・精神障害者2名を含む従業員17名が、養液栽培によりサラダほうれんそう等を通年で栽培。24時間コンピュータ管理を導入し、高品質な野菜を安定的に生産している。

### 商品紹介

#### サラダ ほうれん草

ビタミンCや鉄分、カロチンなどの栄養が豊富に含まれており、アクが少なく茎までやわらかいため、そのまま生で食べられるのが特徴。農薬を天然由来(有機JAS規格)のものに限定し、散布回数を減らす取り組みや、24時間コンピュータ管理のハウスによる均一品質の維持等、おいしい・安心・安全な野菜作りを行なっている。また、職場においては、「障がい者が主役」となり、得意な仕事を見極めて能力を伸ばすことで、種まきから収穫までのすべてを障がいのある社員とそうでない社員が力を合わせて行なっている。

